



メインマーク株式会社が行うウレタン樹脂注入による「沈下床の修正工法」は特許工法です。

特許番号： 第4896949号

発明の名称： 沈下床の修正工法

特許権者：ウレテックジャパン株式会社(現メインマーク株式会社)

特許有効期限：平成40(2028)年11月26日



(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-126955

(P2010-126955A)

(43) 公開日 平成22年6月10日 (2010.6.10)

(51) Int. Cl.

E02D 35/00 (2006.01)

F 1

E02D 35/00

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 11 O L (全 15 頁)

(21) 出願番号	特願2008-301601 (P2008-301601)	(71) 出願人	308023446 ウレテックジャパン株式会社 東京都江戸川区西葛西7-3-10 BK N西葛西ビル6F
(22) 出願日	平成20年11月26日 (2008.11.26)	(74) 代理人	100095407 弁理士 木村 満
		(74) 代理人	100098246 弁理士 砂場 哲郎
		(72) 発明者	フィリップ マック オーストラリア国、2063 ニューサウス ウェールズ、シドニー、ノースブリッジ 、セイラーズ ベイ ロード 169
		(72) 発明者	川口 太 東京都江戸川区西葛西七丁目3番10号 ウレテックジャパン株式会社内

(54) 【発明の名称】 沈下床の修正工法

(57) 【要約】

【課題】 低コストで、かつ短い工事期間で沈下した床を精度よく修正することができる沈下床の修正工法を提供すること。

【解決手段】 地盤上に施工された床において、沈下した範囲の中央部とその周囲とに膨張性樹脂を注入するための注入孔を穿孔し、次に、中央部に穿孔した注入孔から床下に膨張性樹脂を注入して、膨張性樹脂の膨張力により中央部周辺の床を所定量押し上げ、次いで、中央部の周囲に穿孔した注入孔から床下に膨張性樹脂を注入して、膨張性樹脂の膨張力により中央部の周囲の床を所定量押し上げる。

【選択図】 図1

